

研究成果発表会

主催:土木学会 建設マネジメント委員会

日時:平成22年8月2日(月)13:00~17:00

場所:土木学会講堂 新宿区四谷1丁目(外濠公園内)TEL 03-3355-3559

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内

(JR「四ツ谷」駅の四ツ谷口より徒歩3分、地下鉄南北線「四ツ谷」駅の3番出口より徒歩3分、地下鉄丸の内線「四ツ谷」駅より徒歩5分)(<http://www.jsce.or.jp/map/frameset.htm>にて地図を入手できます。)

参加費:無料

申込:下記のHPより申込書をダウンロードし、事務局までメールで送信ください。

(<http://www.jsce.or.jp/committee/cmc/>)

13:00~13:10

開会の挨拶 :建設マネジメント委員会 小澤委員長

13:10~14:00

～インフラ関連事業へのPFI/PPP導入のための技術的および制度的課題とその解決策について～

主として道路事業を対象とした、インフラ事業へのPFI/PPP導入のための技術的および制度的課題とその解決策について、本小委員会を設置している以下の3つのWGでの研究成果を発表するとともに、今後の研究活動の方向について報告する。

- ・リスクマネジメントWG
- ・包括民間委託検討WG
- ・事業WG

インフラPFI研究小委員会

大島 邦彦 (株熊谷組)
北詰 恵一 (関西大学)
渡会 英明 (株建設技術研究所)

14:00~14:55

日本大手建設企業を対象とした公共工事の入札戦略に関する調査報告

本特別小委員会では平成21年度重点研究課題として、日本の大手建設企業を対象に、入札戦略に関する調査研究を実施した。その調査結果では、入札価格を決定する際に「発注者積算と自社積算の乖離」を約9割の回答者が重要視すると回答するという、諸外国の既存研究と比較しても顕著な結果を得た。この項目は、今回の調査で加えた我が国独自の質問項目である。「価格のみの競争」から「価格と品質で総合的に優れた調達」への転換を目的に導入された総合評価方式ではあるが、現状において、建設企業は、価格に対しては官積算、特に調査基準価格の高精度な予測作業努力に、品質に対しては技術提案資料の準備作業努力に、その労力の多くを注いでいる様子がうかがえる。

換言すれば、例えば「価格提案を伴う技術提案」、「価格評価を伴う技術評価」等といった価格と品質が一つの工事プロセスとして深く関連を有した構図での技術提案努力ならびに技術評価努力となりづらい状況となっているという重大な制度上の課題が抽出されたものと考えている。

また、米国・英国の既存調査と比較を行い、成長戦略として掲げられている「海外市場への進出」を進める際の入札・契約を含む事業マネジメントシステム上の課題等についてもふれる。

公共調達制度評価特別小委員会

森本 恵美 (徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部)

14:55~15:10

休憩

15:10~15:50

バイオスタウン構想にもとづく地方都市草津市の サステイナブルなまちづくりと地域マネジメントに関する実証的研究

昨年度までに、草津市農協と草津市役所を事業経営の主体とする有機肥料生産センター建設・運営を中心とする「バイオスタウン構想」を草津市を対象に策定した。目下、昨年に引き続き、その内容に関する事業化の具体的内容を草津市の関連部局で検討する段階に入っている。「地域マネジメント委員会」では、この構想をより効果的・具体的なものとするため、「循環型環境システムを導入した郊外地域の農業生産システム」開発を、草津市郊外地域の都市整備プロジェクトと複合して計画検討を始めている。

すなわち、「農業産品流通を観光農業と結びつける大規模農業公園・道の駅施設・観光農園等の郊外地域開発」と、それらを契機とする「総合的な地方都市整備構想」の立案と、構想の円滑な実現化のための効果的・効率的「地域マネジメントの方法論」の開発研究を進める予定で居る。本発表ではこれらの内容を、プロジェクトマネジメント論として取り纏めて発表することとする。

地域マネジメント
研究小委員会

春名 攻 (立命館大学)

15:50~16:20

契約に基づくプロジェクト遂行における 第三者(専門技術集団)の必要性和三者方式実現への方策

公共工事の透明性を伴った執行には、発注者と受注者の間で、契約に基づき技術問題の解決・費用の適正化などのマネジメントを行う第三者が存在する執行方式の導入が必要である。しかしながら、現状では、契約に従った業務遂行が行われているとは言い難い。アンケート調査の結果からも、現状では第三者と成りうる人材は著しく不足していることがわかった。「第三者」を担う人材を養成するためのシステムや教育プログラムの構築が必要である。

公共事業三者方式
実現研究小委員会

草柳 俊二 (高知工科大学)
五艘 隆志 (高知工科大学)

16:20~16:50

地方における公共工事の入札契約方式に関する研究(中間報告)

現在、小委員会で検討する論点を絞り込む目的で、九州地方における公共工事の入札に関する問題点を分類整理している段階ではあるが、その分類整理方法(分類項目、内容など)や状況などについて中間報告する。また、全国ゼネコンの支店、地場ゼネコン、コンサル、自治体などそれぞれの立場で入札に係わる若手土木技術者を中心に、将来に向けて地方における社会基盤整備のあり方について議論している内容を紹介する。そして、検討すべき内容について参加者からの意見を求めていきたい。

地方における公共
工事の入札契約方
式研究小委員会

牧角 龍憲 (九州共立大学)

16:50~17:00

閉会の挨拶 : 研究問題検討小委員会 滑川小委員長



■問い合わせ

：社団法人 土木学会
研究事業課 建設マネジメント委員会
担当 竹原 優子

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内
TEL:03-3355-3559
E-mail:takehara@jsce.or.jp